

農業塾第4講 果樹栽培基礎(園地視察)



圃場実習の様子



ブルーベリー講座の様子

1

第4講は果樹の園地視察を行いました。JAふくおか八女は果樹の生産もたいへん盛んです。はじめに、農業塾圃場にて現在の野菜の生育状況等について、JA指導員より説明を行いました。その後、うめの園地へ移動。うめは、栽培が簡単で家庭菜園でもよく植えられているように、初心者にも取り組みやすい作物です。剪定の基本を覚えていれば、一本の木からたくさんの実が取れます。ぜひ挑戦し、梅酒や梅ジュースを作ってみてはいかがでしょうか。

次に、ぶどうの園地へ移動。ぶどう栽培は、つるを伸ばし実をならせるため、棚が必要になります。また、日照量が多く排水性がよい所を好みます。ぶどう栽培のポイントは房作り。通常60粒ほど果粒がなりますが30粒程度に摘粒し房作りをします。あのきれいなブドウの形は、生産者の技術の賜物ですね。

つづいて、ももの園地へ移動。収穫期のため、とてもいい香りがしました。もも栽培も比較的栽培しやすく、一般家庭でも植えてある方も多いと思いますが、実が落ちる事が多いそうです。大きなおいしい実をならせるためには、一つひとつに栄養を集中させることが重要です。一本の木に、つぼみが10,000個程度つきますが、摘蕾と摘花・3回の摘果をすることで500個程度に減らしているそうです。

最後にすももの園地へ移動。すももは比較的栽培しやすく初心者向きだそうです。しかし、1品種では交配をしないので栽培する際は2品種を混植する必要があります。

その後、就農支援センターにもどり、ブルーベリーの講義を行いました。ブルーベリーについては、鉢植え栽培も出来るため、畑が無い方でも簡単に栽培できてオススメです。

講座終了後は、受講生にぶどうをプレゼント、大変喜んでいただきました。



ぶどう園地視察の様子



すもも園地視察の様子



うめ園地視察の様子



もも園地視察の様子

